

第15回日本ジャンボリー 大会本部要員 募集要項



「世界に向かって でっかく羽ばたけ！」

静岡県富士宮市朝霧高原
平成22年8月2日(月)～8月8日(日)



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

目 次

第1章	大会本部要員の概要	
1.	はじめに	1
2.	第15回日本ジャンボリーについて	1
3.	大会のテーマ	1
4.	大会のコンセプト	1
5.	会場について	2
6.	大会本部の運営と要員について	2
7.	大会日程について	4
8.	大会本部要員の集散	4
9.	大会本部要員の参加資格	4
10.	大会本部要員の参加者負担金	4
11.	交代参加について	5
12.	部署の選択	5
13.	トレーニング	5
14.	成人の生活について	6
15.	成人のプログラムについて	6
第2章	大会本部要員の役割	
1.	総合サービス部	7
2.	サブキャンプサービス部	8
3.	大会本部要員サービス部	8
4.	オープン参加部	9
5.	ゲストサービス部	9
6.	広報部	10
7.	プログラム部	11
8.	全体行事部	13
9.	輸送部	14
10.	安全・救護部	14
11.	施設・資材部	15
12.	配給部	16
13.	販売部	16

大会本部各部の業務と申し込みコード一覧

第1章 大会本部要員の概要

1. はじめに

この募集要項は、第15回日本ジャンボリー（15NJ）の大会本部要員に関する基本的な情報と各部の業務と必要とする技能等について提供することを目的として作成しました。

特に第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）の日本開催が決定したことによりWSJガイドラインを視野に入れて開催しますので、これまでの日本ジャンボリーとは異なった運営となる部分がありますことをご理解ください。

2. 第15回日本ジャンボリーについて

日本ジャンボリーは、日本国内におけるボーイスカウトの最大の国際キャンプ大会で、昭和31年（1956年）の第1回大会から4年を周期に開催しています。毎回の大会では、開催年や開催地の特色を生かしながら、スカウト教育を反映させたテーマを毎回設定しています。

第15回日本ジャンボリーでは、参加した青少年が、世界文化遺産登録を目指す霊峰富士山麓の豊かな自然の中で、キャンプ生活を通じて相互理解と協調性を養うとともに、様々な活動、とくに環境や健康の諸問題に関するプログラムをとおして持続可能な社会を共に考え行動する機会とします。

3. 大会のテーマ

「世界に向かって でっかく羽ばたけ！」

今大会は、2015年に日本で開催される世界スカウトジャンボリーに向けた第一歩であり、スカウト運動が大会の参加者の力によって大きく飛躍・前進する契機とします。

壮大な富士を仰ぐとスカウト運動の創始者ベーデン-パウエル卿が遺した言葉が胸に湧いてきます。My mountain says “Look wider, look higher, look farther ahead, and a way will be seen.”（我が山が「もっと広く高く、そして遠くを見よ、そうすれば、道は見えてくるだろう」と、私をさとし示している）。朝霧高原で自然環境と調和を図り、全国の青少年と世界の仲間とともに、広い視野、より高い志をもって、富士山のように「でっかく成長しよう」という願いを込めて、大会テーマとしました。

4. 大会のコンセプト

(1) 地球環境との共生を考える

- 地球温暖化や大気・水・土壌汚染などの地球環境問題を考える教育プログラムを展開し、その理解促進に取り組むとともに、キャンプ生活を通じて食料や水、燃料等の使用に配慮したエコキャンプを実践する。
- 廃棄物の減量や二酸化炭素（CO₂）排出量の削減、地産地消（地元で生産されたものを利用する）等、環境に過大な負荷をかけない大会運営を目ざす。
- 環境保全や資源の再生利用について、社会的評価が得られる具体的な活動を盛り込む。

(2) 強健な身体とそれを支える食の大切さを体感する

- 大会期間中だけでなく、大会前のスカウト活動から、長期のキャンプ生活（8泊9日）を十分楽しめる体力作りに取り組む。
- 普段の「豊かな食生活」の背後で発生している諸問題を考える教育プログラムを展開し、持続可能な社会の理解促進に取り組む。

(3) 地域社会や関係組織・諸団体と一体となって開催する

- 開催地域を中心とした一般青少年教育団体等からの参加を促進するため、参加条件や環境を十分に整え、本運動の一層の理解促進に努める。
- 大会期間中だけでなく、大会前後における奉仕プログラムも構築すると共に諸外国連盟や一般社会からの人的支援協力についても積極的に受け入れる。
- 大会に参加できないスカウトや一般の青少年にもジャンボリーを楽しめるプログラムを全国各地で展開する（ジョイン・イン・ジャンボリー）。
- 自治体やマスコミ、企業に対して本大会開催の意義と目的の理解推進に努め、様々なコラボレーションをすることで、スカウト運動の社会的認知度の向上を目指す。

(4) ゆとりのある大会を目指す

- スカウティングの基本である自発活動に基づいたキャンプ生活を展開する。
- ジャンボリーライフを十分に楽しめるゆとりある日程を編成し、快適なキャンプ生活を目指す。
- 大会運営組織をスリム化し、効率的かつ効果的な大会運営を行う。
- 情報伝達（文書、表示等）の国際化（英語、フランス語等）に努める。

5. 会場について

朝霧高原（静岡県富士宮市根原地先）は、主要幹線国道139号線の山梨県との県境より南へ約5km、富士宮市街地より北へ約23kmに位置します。昭和46年（1971年）に開催された第13回世界ジャンボリーの会場に使われた朝霧アリーナを中心に、周辺の牧草地、朝霧オートキャンプ場、朝霧野外活動センターなどが15NJの会場となります。

朝霧高原は、日本有数の酪農地帯で、丘陵地が広がり、富士山を背景とした草原地帯には富士山の火山灰土（黒ぼく）、富士砂などが堆積しており、会場内は牧草のほか、ススキ、杉、檜、柏が分布しています。会場の海拔は平均して800～860mあり、朝夕の寒暖の差が大きい高原地特有の気候で、駿河湾から湿った空気が上昇し霧や雨になることが多くあります。

6. 大会本部の運営と要員について

平成27年（2015年）7月に開かれる第23回世界スカウトジャンボリーが日本で開催されることが決定されました。第15回日本ジャンボリーでは、世界スカウトジャンボリーの要素を取り入れた大会となるよう、大会期間や参加形態、プログラム、運営組織等を設定しました。大会本部要員だけでなく、参加者もサブキャンプ運営の一端を担う効率的な大会組織を作ります。従来のNJの経験を生かしつつ、サブキャンプの組織も大会本部の一つとして運営します。

2万人の大会運営には、その参加人数の1割に相当する約2,000人が必要と試算しています。つまり、生活やプログラムなど派遣隊へのサービスを提供するためには1こ隊あたり5人の大会本部要員が必要であり、これは各県連盟・団からの派遣協力が無ければ実現できないことです。また、大会本部要員には、加盟員以外にも外国連盟指導者、ガールスカウト関係諸団体、一般成人等からの奉仕を歓迎します。

大会本部の各部を担うのはローバースカウト・成人指導者による大会本部要員です。これまでより期間も長く、8つのプログラムモジュールを提供するため、また23WSJへ向けたプレ大会となる16NJへの経験を積むためにも、これまで以上に多数の奉仕者の参加が求められます。

大会本部各部の所掌業務

部 署	所掌業務
総合サービス部	大会本部各部との連絡調整に関する事 派遣団との連絡調整に関する事 参加者への情報提供に関する事 参加者の申込・受付に関する事 大会の事務に関する事
サブキャンプサービス部	サブキャンプ内の派遣隊指導者同士のコミュニケーションに関する事 期間中の派遣隊への連絡に関する事 派遣隊の生活に関する事 派遣隊のプログラム参加に関する事
大会本部要員サービス部	大会本部要員の配属に関する事 大会本部要員・派遣団要員の生活に関する事 成人のプログラムに関する事
オープン参加部	オープン参加の企画に関する事 オープン参加者の募集に関する事 オープン参加者の生活に関する事
ゲストサービス部	見学者に関する事 来賓・来訪者に関する事 レセプションに関する事
広報部	参加者のコミュニケーションに関する事 大会の情報提供に関する事 写真・映像記録に関する事 スカウト通信員に関する事
プログラム部	ジョイン・イン・ジャンボリーに関する事 テーマ別プログラム（場内・場外）に関する事 ジャンボリー広場の展示に関する事 信仰奨励に関する事 スカウト平和の日に関する事 サブキャンププログラムに関する事 ジャンボリーフレンドシップアワードに関する事
全体行事部	セレモニー（開会式・閉会式）に関する事 ジャンボリー大集会に関する事 スカウト平和の日に関する事 アリーナの国旗儀礼に関する事 アリーナの使用統制に関する事
輸送部	場内・会場周辺の交通統制に関する事 参加者の輸送に関する事 期間中の人員・荷物の輸送に関する事 業務用車両に関する事 駐車場に関する事
安全・救護部	会場内の警備に関する事 防災に関する事 救護に関する事 危機管理に関する事
施設・資材部	会場の利用に関する事 設備の構築・維持管理に関する事 資材・器具の調達・配分に関する事
配給部	派遣隊の食料と炊事用燃料に関する事 本部食堂に関する事 プログラムに必要な食材に関する事 要員の福利厚生に関する事
販売部	スカウト用品売店に関する事 一般売店、一般食堂に関する事

7. 大会日程について

日程表

全体行事

日数	日程	主な行事	午前	午後	夜間
	7月30日(金)	大会本部要員到着	大会本部要員到着 設営		事前訓練
	7月31日(土)	準備作業	準備作業		
前日	8月1日(日)	派遣隊到着 設営	派遣隊到着 設営		
第1日	8月2日(月)	開会式		開会式	
第2日	8月3日(火)	プログラム	プログラム	プログラム	
第3日	8月4日(水)	プログラム	プログラム	プログラム	
第4日	8月5日(木)	スカウト平和の日		ジャンボリー大集会	
第5日	8月6日(金)	プログラム	プログラム	プログラム	
第6日	8月7日(土)	プログラム	プログラム	プログラム	
第7日	8月8日(日)	環境整備 閉会式		環境整備	閉会式
翌日	8月9日(月)	参加者退場	派遣隊退場	派遣隊・大会本部要員退場	

8. 大会本部要員の集散

(1) 入場・退場

大会本部要員の入場は、7月30日(金)の正午までに会場に到着し、夕食までに設営を完了します。

大会本部要員の退場は、派遣隊の退場完了後とし、8月9日(月)の昼食後から夕刻までを予定します。入場・退場の手続き、最寄り公共交通機関からのシャトルバスの運行、駐車場の利用等は、今後の情報を参照ください。

(2) 先発・後発要員

事前の準備から携わる実行委員会と専門部会の委員、ならびに大会本部要員の到着受け入れや退場等に必要な要員は、予め実行委員会から入場・退場日時が指示されます。

9. 大会本部要員の参加資格

大会本部要員は、上記に示す入場日から退場日までの全日程に参加できる者の中から、各団が責任を持って選考し、所属する県連盟の派遣団の一員として参加します。

- (1) 18歳以上のベンチャースカウト(高校生は除く)、ローバースカウト、準指導者、指導者、県連盟・日本連盟の役員および事務局職員、スカウトクラブ会員等。
- (2) 日本連盟が要請する各分野における専門家(外部インストラクター・協力者等)。

10. 大会本部要員の参加者負担金

参加者1人あたりの負担金は次のとおりとし、予納金と参加費に区別して納入します。

25歳以下の大会本部要員の参加者負担金は、世界スカウトジャンボリーの参加費形態を適用して減額します。また、大会本部要員の年齢区分は、平成22年7月30日時点とします。

参加の区分	予納金	参加費	参加者負担金 計
大会本部要員(26歳以上)	10,000円	27,000円	37,000円
大会本部要員(25歳以下)	10,000円	20,000円	30,000円

参加者負担金は、大会の準備および開催に要する次の経費に充てます。

(1) 諸準備から報告書作成までの経費

- (2) 大会本部要員は、7月30日夕食分から8月9日昼食分までの30食分
- (3) 炊事用等の燃料費
- (4) 配付資料、参加章等の費用
- (5) 会場の設備費および運営費
- (6) 会期中の救護衛生費
- (7) 賠償責任保険、傷害保険の保険料
- (8) その他

1.1. 交代参加について

大会本部要員に限らず、すべての参加者は、基本実施要領3頁の日程表に示す入場日から退場日までの全日程に参加することを原則とします。

ただし、やむを得ない事情がある場合に限り、県連盟派遣団および大会本部の承認を得て、任務によっては大会の前半と後半で交代参加できることとしましたが、あくまで全日程参加が原則であり、万々やむを得ない場合であることをご理解くださいますようお願いいたします。

交代参加は、派遣団の参加人員の割当や輸送計画等にも影響しますので、可否については所属の県連盟とご相談ください。

交代参加の区分、参加日程、参加者一人あたりの負担金は次のとおりです。

参加の区分	参加日程（泊数・食数）	予納金	参加費	参加者負担金 計
大会本部要員 (年齢区分無し)	前半：(7泊8日・21食) 7月30日(金)夕食～8月6日(金)昼食	10,000円	20,000円	30,000円
	後半：(5泊6日・15食) 8月4日(水)夕食～8月9日(月)昼食	10,000円	20,000円	30,000円

交代で参加する方は、大会中日の8月5日(木)を業務引継ぎ日とするため、前日の4日(水)に後半に参加する方が入場し、前半のみ参加する方が翌日の6日(金)に退場することとしました。また、大会本部ならびに各派遣団が交代参加者の集散について把握し、重複期間の食材の配給や給食、生活サイトの利用を効率よく運営するため、交代参加者の入場・退場日を定めました。

交代参加を希望する方は、交代相手とともに申し込むことを原則とします。なお、部署によっては交代参加者に対応できない部署もありますので、第2章の各部の業務を参照ください。

1.2. 部署の選択

希望する部署を選択してください。

ジャンボリーでの業務は「大会本部各部の業務」や「各部の業務と申し込みコード一覧」を参考にしてください。各部署では技能・知識に応じて業務内容が分かれています。

あなたの能力を発揮できる部署で奉仕してください。

なお、希望する部署に行けないこともありますので、ご了承ください。

1.3. トレーニング

共通トレーニング 7月30日に実施（交代の場合は8月4日）

大会本部要員としてのオリエンテーションと15NJの目標などについて
各部署別トレーニング 7月31日・8月1日に実施(交代の場合は8月5日)
業務内容・仕事のシフトや生活について

14. 成人の生活について

派遣隊指導者以外の派遣団要員や大会本部要員は、指定された宿泊エリア(1カ所)で生活をします。生活についての詳細は今後お知らせします。基本実施要領(13頁 大会本部要員の携行品)で「宿泊用のテント等を持参する。」ことを記載していますが、現在予定している宿泊エリアの地盤は溶岩状であり、通常の個人用テント(ドームテント等)での生活が厳しい状況にあります。そこで15NJ実行委員会(平成21年9月現在)では、大会本部で奉仕者宿泊用の集会用テントを有償(テント借上費程度)にて準備することを検討していますので、詳細は別途お知らせします。

派遣団要員と大会本部要員は、本部食堂での給食(一部携行食の配給)となります。給食と配給は、7月30日(金)夕食から8月9日(月)昼食までの30食となります。

15. 成人のプログラムについて

奉仕期間が長くなることから、大会奉仕者もリフレッシュできる有意義なプログラムを提供します。地域の文化や歴史、スカウティングの歴史などをテーマとした観光プログラムを企画しています。是非参加してください。

詳細は22年5月頃にご案内します。

第2章 大会本部要員の役割

各部署の業務や編成、必要な技能等を参照して、希望する部署（申し込みコード）を5つ選択してください。5つのうち3つ以上異なる部署になるように選択してください。

特別な技能や経験を必要とする部署は、複数の選択があります。自己の技能・経験、興味などを業務内容と照らし合わせて、選択してください。

1. 総合サービス部（01-00）

総合サービス部は、大会本部各部と連携して参加者に必要な情報を大会前から派遣団（県連盟・外国連盟・諸団体）に提供し、派遣団の編成や準備を支援します。期間中は、諸会議を開催し、大会本部各部ならびに各派遣団と連絡調整を行います。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
総務・庶務	部内の管理に関すること 部内各班の所掌に属さない事項に関すること	否
総務・情報	参加者・派遣団・大会本部各部との調整に関すること 派遣団長会議等、各種会議に関すること 大会運営と参加登録に関すること	
国内派遣団	国内派遣団との連絡調整に関すること	
外国派遣団	外国派遣団との連絡調整に関すること	
サブキャンプ	参加者の生活、プログラム参加調整に関すること サブキャンプへの必要な情報について、各部との調整に関すること	
ICT	大会のICTに関すること	

申し込みコード・求められる技能等

01-00 総合サービス部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
コミュニケーション能力とネットワークのある方
カウンセリングが得意な方
新しい大会運営に対する理解のある方
外国語ができればなお良い

<あわせて以下の技能・資格をお持ちの方を歓迎します>

01-01 通訳者・翻訳者

日常的に通訳・翻訳している方

2. サブキャンプサービス部 (02-00)

サブキャンプサービス部は、派遣隊のキャンプ生活を支援し、プログラムへの参加を促進します。また、参加者相互の交流をはかり、サブキャンプ・ライフに必要な業務を参加者と協働します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	各部との連絡・調整に関する事	否
サブキャンプリーダー	サブキャンプのキャンプ生活、プログラム活動、参加者の健康と安全に関する事	
サブキャンプマネージャー	各担当(プログラム、食料、生活、参加者サービス)のマネジメントに関する事	可
サブキャンプスタッフ	プログラム、食料、生活、参加者サービスの業務に関する事	

申し込みコード・求められる技能等

02-00 サブキャンプサービス部

やる気がある方どなたでも歓迎

3. 大会本部要員サービス部 (03-00)

大会本部要員サービス部は、「大会本部要員」対象として業務を行います。大会本部各部と連携して必要な要員の募集・配属を行い、期間中は派遣団要員・大会本部要員の生活を支援し、成人のプログラムを提供します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	各部との連絡・調整に関する事	否
大会本部要員業務案内・調整	大会本部要員の募集と配属に関する事 大会本部要員のトレーニングに関する事	
成人キャンプ運営	成人の生活に関する事	可
成人プログラム	成人のプログラムに関する事	

申し込みコード・求められる技能等

03-00 大会本部要員サービス部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎

コミュニケーション能力のある方

コンピュータスキルのある方

人材育成の得意な方

成人プログラムの企画ができる方

<あわせて以下の技能・資格をお持ちの方を歓迎します>

03-01 カウンセラー

4. オープン参加部 (04-00)

オープン参加部は、加盟員以外の一般青少年を対象とした参加を企画し、オープン参加者を募集します。期間中はオープン参加者の生活やプログラムを支援します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務・人事	参加者の募集・受付に関する事	否
配給	参加者の食材・薪等の配給に関する事	
施設・資材	参加者の利用施設、資材に関する事	
生活	参加者の生活に関する事	
プログラム	宿泊地内のプログラムに関する事	
参加グループ係	参加グループへのジャンボリープログラム説明、参加案内、現地案内、生活指導に関する事	可

申し込みコード・求められる技能等

04-00 オープン参加部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
 コミュニケーション能力のある方
 一般参加者のためのプログラム企画のできる方

5. ゲストサービス部 (05-00)

ゲストサービス部は、見学者の事前申し込みや招待者への案内を行います。期間中は、見学者・招待者を受付・案内します。また、派遣団や招待者を歓待するレセプションを開催します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	部内調整、各部との調整に関する事	否
加盟員見学者	加盟員見学者の案内、見学に関わる業務に関する事	可
一般見学者	一般見学者の案内に関する事	
来賓	来賓の案内、レセプションの運営に関する事	

申し込みコード・求められる技能等

05-00 ゲストサービス部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
 日常会話程度の英会話能力がある方
 おもてなしの心のある方

6. 広報部 (06-00)

広報部は、ボーイスカウト日本連盟としての広報活動と緊密な連携のもと、開催地域の市、県、企業と協力しながら、大会とスカウト運動を広報します。大会の正確な情報を各種広報媒体によって広域的に発信するとともに、大会期間中の記録映像、写真などの撮影、収集、整理し、大会の記録を残します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	部内調整、各部との調整に関する事	否
取材	大会の活動内容の取材と情報整理に関する事	可
報道	内外報道機関との連絡・調整に関する事 プレスセンターの運営に関する事 記録映像制作の支援に関する事	
ホームページ	大会ホームページの運用に関する事	
F M	F M放送の運営に関する事	
新聞	大会新聞の編集・発行に関する事 大会記録写真に関する事	

申し込みコード・求められる技能等

06-00 広報部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
事務作業の得意な方、運転免許取得者など
コンピュータスキルのある方
外国語の得意な方
県連盟広報誌、地域新聞などの制作の経験のある方
取材に歩き回る体力・気力・忍耐力のある方

<あわせて以下の技能・資格をお持ちの方を歓迎します>

06-01 報道関係者

テレビ・新聞・通信社など各種マスコミ関係者

06-02 アナウンサー、D J

アナウンス業務従事者、経験者またはアナウンス原稿が作成できる方
外国語で番組放送司会進行ができる方

06-03 F M放送番組制作関係者

ラジオ放送番組の制作企画の経験者

06-04 Webクリエイター

HTML、CSSに関する知識を有し、Webページ制作のできる方
Webサイトのページデザインを行うことができる方

06-05 グラフィックデザイナー、イラストレーター

イラスト用ソフトにより、グラフィックデザイン・イラストの作成できる方
デジタル画像の処理・加工のできる方

06-06 DTPオペレーター

DTPソフトにより、色彩、組版からデジタルデータまで扱える方

06-07 エンジニア(システム、ネットワーク、セキュリティ、サーバ)、運用オペレーター

ネットワークの構築と運用管理のできる方

7. プログラム部 (07-00)

プログラム部は、場内外で展開する青少年プログラムを企画・運営します。大会で提供するプログラムは、ボーイスカウトおよびベンチャースカウト部門の活動の目標を基本として、参加者の個人的な成長を助け本大会の目的を達成するために構築します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務・人事	部内調整、各部との調整に関すること 部員の配属に関すること	否
資材	プログラム資材の調達・手配に関すること	
プログラム要員	プログラムの企画、計画、実施に関すること	可

申し込みコード・求められる技能等

07-00 プログラム部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
心身ともに健康で、体力に自身のある方
コミュニケーション能力があり、柔軟な思考のできる方
外国語ができればなお良い

<あわせて以下の技能・資格をお持ちの方を歓迎します>

07-01 庶務・人事

庶務・人事分野での経験を持っている方（歓迎）

07-02 資材

庶務・資材等手配分野での経験を持っている方（歓迎）

07-03 プログラム要員

ジャンボリーにおける参加者の刺激、動機づけ、挑戦をねらいとしたプログラムに係る広範な提供が、その任務となります。心身ともに健康で、体力に自身のある方、コミュニケーション能力があり、柔軟な思考のできる方、そして、外国語ができる方が望まれますが、以下に示すプログラムの例に適したスキルをお持ちの方、その他にもプログラムの企画、実施が得意という方を広く求めます。プログラムスキルを持っている方、プログラムスキルを持つ複数名でのグループ参加も歓迎します。

プログラム企画のできる方（歓迎）

07-04 **テーマ別プログラム** [半日または一日 サブキャンプ単位 (班単位) で参加するプログラム]

15NJでは、すべての参加者が体験する中心的なプログラムをテーマ別に設定し、半日または一日の単位で場内と場外で実施します。参加スカウトはサブキャンプごとのローテーションで、各テーマ別プログラムを体験します。参加スカウトは大会期間中にすべてのテーマ別プログラムに参加することができます。

*以下のテーマ別プログラム名は仮称です。

07-05 地球開発村 (GDV = GLOBAL DEVELOPMENT VILLAGE) 場内・半日

国連機関や関係団体、NGO・NPO等の協力を受けて実施するプログラムで、現代の世界が直面する地球規模の諸問題について理解し、こうした問題に対して自分たちが何をできるかを考え、行動に結びつける手法を身につけることを目的に、平和・環境・開発・健康等のテーマを柱に展開する参加学習型のプログラムです。

- 想定されるプログラムの例
- ・世界遺産の活動、識字教育に関すること
 - ・野生生物の保護、2010年国連国際生物多様性年に関すること
 - ・AIDSの正しい知識、予防に関すること
 - ・世界の子どもが置かれている状況に関すること
 - ・麻薬・覚せい剤に関すること
 - ・世界の難民に関すること
 - ・国際協力に関すること
 - ・飢餓と貧困の問題に関すること 等
- 07-06 文化の交差点（CRC = CROSSROAD OF CULTURE） 場内・半日
参加班の事前準備からの積み上げによる各県連盟派遣団、各国派遣団提供のアウトプット、表現型のプログラム等（スキルオラマなど）により、文化交流、友情・交歓、日本の伝統・文化を理解する場とします。
- 想定されるプログラムの例
- ・各国派遣団、各県連盟派遣団提供プログラム
 - ・地域の郷土芸能、工芸、文化等の実演と体験
 - ・スカウト海外派遣事業の報告会 等
- 07-07 健康と安全（HEALTH AND SAFETY） 場内・半日
地元行政、関連企業等の協力を得て、健康と安全について、安全や衛生、食育、生活習慣、体力増進等の視点から学びます。
- 想定されるプログラムの例
- ・班対抗による「レスキュー」競技、救急技能
 - ・車いす、視覚障害・盲導犬「ハンディキャップ」体験、手話講習
 - ・起震車体験、災害救助・支援展示、フォーラムによる「災害」学習
 - ・地元の郷土料理、特産品、取り組み等を通じ「食」について学災害」学習
 - ・視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚を活かした「五感」対班ゲーム 等
- 07-08 科学の都市（COS = CITY OF SCIENCE） 場内・半日
関連企業、諸団体等の協力を得て、科学技術の進歩に接し、エネルギー資源やエコロジーの視点から、環境と人間の営みについて学びます。
- 想定されるプログラムの例
- ・コンピュータ 節電によるエネルギー消費量の違いをグラフ化
 - ・クリーン発電 ソーラー発電、風力発電の体験、地熱発電の学習
 - ・エコドライブ 固定したバイクによる燃料消費のシミュレーション
 - ・化学、科学 実験を通じて酸性雨や温暖化の危険性を学ぶ
 - ・資源 ごみを分別し、使えるものを選び出し、再生させる等
- 07-09 冒険と自然探求（ADVENTURE AND EXPLORING NATURE） 場内 一日（半日＋半日）
スカウト技能を駆使し、会場の自然環境を利用した冒険的なプログラムに挑戦します。また、自然を探求し、自然に対する感謝の念を深めます。
- 想定されるプログラムの例
- ・パイオニアリング ・ターザンロープ ・班旗立て
 - ・ツリークライミング ・ウォークラリー ・追跡ハイク
 - ・マウンテンバイク ・アドベンチャーゲーム（観察と推理）
 - ・キャンプクラフト ・オリエンテーリング
 - ・間伐材クラフト ・草木染め ・気象観測 等
- 07-10 地域社会奉仕（COMMUNITY SERVICE） 場外・一日

富士山のもとでの奉仕活動をキーワードに、地元行政、関連企業等の協力を得て、会場周辺の地域を知り、「東海自然歩道の清掃活動」やフィッシングなど「水」のプログラム等、地域での様々な体験や奉仕活動を中心に展開します。

想定されるプログラムの例

- ・東海自然歩道の清掃活動 ・間伐作業体験 ・酪農作業体験
- ・トレッキング ・フィッシング ・カヌーイング
- ・湧水めぐり ・人穴探検 ・地域研究 等

07-11 **ジャンボリー広場** [空いた時間に参加するプログラム・場内・個人でも参加]

07-12 **スカウトセンター**

各国派遣団、各県連盟派遣団、日本連盟によるスカウト活動の紹介が行われます。

07-13 **スカウト展示**

地球開発村（G D V）との対話型プログラムが提供されるほか、切手やワッペン等のスカウトコレクション、協賛企業・団体による活動紹介等が行われます。

07-14 **信仰奨励**

各人の信仰に基づき、更に明確な信仰を持つ契機となるよう、各教宗派による展示、祈りの場を設け、様々な信仰や信条に触れ合う機会とします。

07-15 **サブキャンプ・ライフ** [サブキャンプでの活動・場内]

15 N J では、参加スカウトのキャンプサイトでの生活そのものもプログラムと捉えるとともに、サブキャンプ内での仲間作りや交流等を目的に自由に参加できるプログラムを行います。

07-16 **スカウト平和の日**

大会4日目の8月5日（木）を「スカウト平和の日」とし、15 N J の生活および活動全般を通じて、統一したテーマの下に、スカウトとして世界の平和について考える一日とすることとしています。

8 . 全体行事部 (08-00)

全体行事部は、開閉会式、ジャンボリー大集会等の大会のセレモニーを企画・運営します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	部内調整、各部との調整に関する事	可
演出	司会者・アナウンスなど放送管理に関する事。 照明、音響、映像等の演出に関する事	否
出演者管理	出演者との連絡調整に関する事 出演者の誘導等に関する事	可
演技グループ管理	音楽隊等演技グループに関する事	
旗管理	各種旗の掲揚・降納に関する事 旗関係の管理保管に関する事	
アリーナ管理	アリーナ会場の管理・整理に関する事 アリーナ会場の誘導・警備等に関する事	

申し込みコード・求められる技能等

08-00 全体行事部

やる気がある方どなたでも歓迎

9. 輸送部 (09-00)

輸送部は、全ての参加者の集合・解散や資器材の輸送について調整し、交通統制します。期間中の輸送手段を企画し、シャトルバス・場外プログラムバスの運行、駐車場・業務用車両を管理します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	部内調整、各部との調整に関する事	否
管理	業務用車両、燃料に関する事 車両許可証の管理に関する事	
交通管制	集散輸送（人員・資器材）に関する事 期間中の交通規制、誘導に関する事	可
駐車場管理	駐車場の管理に関する事	

申し込みコード・求められる技能等

09-00 輸送部

やる気がある方どなたでも歓迎

<あわせて以下の技能・資格をお持ちの方を歓迎します>

09-01 運転免許取得者（二種、大型、特殊、その他）
日常的に大型車等を運転している方（普通免許は除く）

09-02 誘導警備経験者
車両誘導、雑踏警備の経験のある方
誘導・警備について部員を指導できる方

10. 安全・救護部 (10-00)

安全・救護部は、大会の危機管理を検討し、場内の安全を保つための指導、管理をします。また、参加者の傷病に備え、救護所の運営や医療関係機関と連携をはかります。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	部内調整、各部との調整に関する事	否
サブキャンプ担当	サブキャンプとの連絡調整に関する事	
安全担当	場内の安全管理、交通指導等に関する事	可
医療担当	救護所に関する事 カウンセリングに関する事	

申し込みコード・求められる技能等

10-00 安全・救護部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎

大会の危機管理や安全・救護に興味がある方

体力・持久力のある方

普通免許取得者

調整・コミュニケーション力や外国語会話能力があるとなお良い

<あわせて以下の技能・資格をお持ちの方を歓迎します>

- 10-01 誘導警備経験者
車両誘導、雑踏・施設警備等の経験者。左記について部員を指導できる方
- 10-02 各科の医師
- 10-03 看護師
- 10-04 医療技術資格者
- 10-05 医療機関勤務経験者
- 10-06 カウンセラー
- 10-07 看護・医療系の学生
- 10-08 企業等の危機管理担当経験者

11 施設・資材部 (11-00)

施設・資材部は、水道・電気・通信など必要な設備を構築し、期間中の維持管理を行います。また、サブキャンプや各部で必要な資材を調達し、配分します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	部内調整、各部との調整に関すること	否
業務	各班業務への支援協力に関すること	
施設	道路、便所、給排水施設、公衆電話施設、配線および照明器具、発電機等の管理・保管に関すること	
資材	貸与資材の保管、貸出と返納受領に関すること	
サブキャンプ	サブキャンプ施設の利用、連絡調整に関すること	

申し込みコード・求められる技能等

11-00 施設・資材部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
 事務作業の得意な方
 運転免許取得者
 健康で体力のある方

<あわせて以下の技能・資格をお持ちの方を歓迎します>

- 11-01 水道工事経験者・有資格者
- 11-02 電気工事経験者・有資格者
- 11-03 通信工事経験者・有資格者
- 11-04 土木工事経験者・有資格者
- 11-05 液化石油ガス整備士

12 . 配給部 (12-00)

配給部は、サブキャンプへの食材等の配給と、本部要員として奉仕いただく皆様の給食を担当します。具体的には3つの班(庶務・給食・配給)で15NJをサポートしていきます。配給班は、配給物資の数量確認ならびにサブキャンプとの連絡調整が主な業務で車両の運転はありません。給食班は、調理された料理のセルフ方式による給食の指導、本部食堂への入退場の整理及び衛生管理が主な業務です。庶務班は、これらの業務調整を行います。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	部内調整、各部との調整に関する事	一部可
給食	本部食堂の管理運営に関する事	一部可
配給	サブキャンプへの配給に関する事	否

申し込みコード・求められる技能等

12-00 配給部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
 健康な方
 調整・コミュニケーション能力のある方
 日常会話程度の英会話能力がある方 はなお可。

13 . 販売部 (13-00)

販売部は、大会記念品やスカウト用品を扱うスカウト用品売店を出店するほか、一般売店・食堂が出店する売店地域を管理運営し、参加者の生活に必要な物品販売やサービス、見学者に向けた食事のサービスを提供します。

主な班・係と業務

主な班・係	主な業務	交代の可否
庶務	事務処理の総括、金銭管理、外貨両替等に関する事 部内調整、各部との調整に関する事	否
一般売店	一般売店の運営に関する事	
販売	売店・出張所における記念品・スカウト用品の販売に関する事	可

申し込みコード・求められる技能等

13-00 販売部

やる気がある方どなたでも歓迎 以下を兼ね備えている方はなお歓迎
 ショップ店員に興味のある方
 暗算の得意な方
 笑顔のすてきな方

大会本部各部の業務と申し込みコード一覧

やる気がある方どなたでも歓迎。希望部署コード上二桁「01～13」を選び下二桁「00」でお申し込みください。

部署	申し込みコード	募集人数	主な業務	班・係 (仮称)	交代の可否
総合サービス部	01-00 総合サービス部 <技能 資格をお持ちの方> 01-01 通訳者・翻訳者	56人	大会本部各部と連携して参加者に必要な情報を大会前から派遣団(県連盟 外国連盟 諸団体)に提供し、派遣団の編成や準備を支援します。期間中は、諸会議を開催し、大会本部各部ならびに各派遣団と連絡調整を行います。	総務 庶務	否
	総務 情報 国内派遣団 外国派遣団 サブキャンプ IT				
サブキャンプ部	02-00 サブキャンプサービス部	250人	派遣隊のキャンプ生活を支援し、プログラムへの参加を促進します。また、参加者相互の交流をはかり、サブキャンプライフに必要な業務を参加者と協働します。	庶務	否
				サブキャンプリーダー サブキャンプマネージャー サブキャンプスタッフ	
大会本部要員サービス部	03-00 大会本部要員サービス部 <技能 資格をお持ちの方> 03-01 カウンセラー	20人	大会本部要員 対象として業務を行います。大会本部各部と連携して必要な要員の募集 配属を行い、期間中は派遣団要員、大会本部要員の生活を支援し、成人のプログラムを提供します。	庶務	否
				大会本部要員業務案内 調整 成人キャンプ運営 成人プログラム	
オープン参加部	04-00 オープン参加部	40人	加盟員以外の一般青少年を対象とした参加を企画し、オープン参加者を募集します。期間中はオープン参加者の生活やプログラムを支援します。	庶務・人事	否
				配給 施設 資材 生活 プログラム 参加グループ係	
ゲストサービス部	05-00 ゲストサービス部	58人	見学者の事前申し込みや招待者への案内を行います。期間中は、見学者 招待者を受付 案内します。また、派遣団や招待者を歓待するレセプションを開催します。	庶務	否
				加盟員見学者 一般見学者 来賓	
広報部	06-00 広報部 <技能 資格をお持ちの方> 06-01 報道関係者 06-02 アナウンサー、DJ 06-03 FM放送番組制作関係者 06-04 Webクリエイター 06-05 グラフィックデザイナー、イラストレーター 06-06 DTPオペレーター 06-07 エンジニア、運用オペレーター	90人	ボーイスカウト日本連盟としての広報活動と緊密な連携のもと、開催地域の市、県、企業と協力しながら、大会とスカウト運動を広報します。大会の正確な情報を各種広報媒体によって広域的に発信するとともに、大会期間中の記録映像、写真などの撮影、収集、整理し、大会の記録を残します。	庶務	否
				取材 報道 ホームページ FM 新聞	
プログラム部	07-00 プログラム部 <技能 資格をお持ちの方> 07-01 庶務・人事 07-02 資材 07-03 プログラム要員 07-04 テーマ別プログラム 07-05 地球開発村 07-06 文化の交差点 07-07 健康と安全 07-08 科学の都市 07-09 冒険と自然探求 07-10 地域社会奉仕 07-11 ジャンボリー広場 07-12 スカウトセンター 07-13 スカウト展示 07-14 信仰奨励 07-15 サブキャンプライフ 07-16 スカウト平和の日	777人	場内外で展開する青少年プログラムを企画 運営します。大会で提供するプログラムは、ボーイスカウトおよびベンチャースカウト部門の活動の目標を基本として、参加者の個人的な成長を助け本大会の目的を達成するために構築します。	庶務・人事	否
				資材 プログラム要員	
全体行事部	08-00 全体行事部	110人	開閉会式、ジャンボリー 大集会等の大会のセレモニーを企画 運営します。	庶務	可
				演出 出演者管理 演技グループ管理 旗管理 アリーナ管理	
輸送部	09-00 輸送部 <技能 資格をお持ちの方> 09-01 運転免許取得者(二種、大型、特殊、その他) 09-02 誘導警備経験者	160人	全ての参加者の集合 解散や資器材の輸送について調整し、交通統制します。期間中の輸送手段を企画し、シャトルバス 場外プログラムバスの運行、駐車場 業務用車両を管理します。	庶務	否
				管理 交通管制 駐車場管理	
安全救護部	10-00 安全・救護部 <技能 資格をお持ちの方> 10-01 誘導警備経験者 10-02 各科の医師 10-03 看護師 10-04 医療技術資格者 10-05 医療機関勤務経験者 10-06 カウンセラー 10-07 看護・医療系の学生 10-08 企業等の危機管理担当経験者	150人	大会の危機管理を検討し、場内の安全や交通指導、入退場を管理します。また、参加者の傷病に備え、救護所の運営や医療関係機関と連携をはかります。	庶務	否
				サブキャンプ担当 安全担当 医療担当	
施設資材部	11-00 施設・資材部 <技能 資格をお持ちの方> 11-01 水道工事経験者・有資格者 11-02 電気工事経験者・有資格者 11-03 通信工事経験者・有資格者 11-04 土木工事経験者・有資格者 11-05 液化石油ガス整備士	70人	水道 電気 通信など必要な設備を構築し、期間中の維持管理を行います。また、サブキャンプや各部に必要な資材を調達し、配分します。	庶務	否
				業務 施設 資材 サブキャンプ	
配給部	12-00 配給部	97人	サブキャンプへの食材等の配給と、本部要員として奉仕いただく皆様の給食を担当します。具体的には3つの班(庶務・給食 配給)で15Nをサポートしていきます。配給班は、配給物資の数量確認ならびにサブキャンプとの連絡調整が主な業務で車両の運転はありません。給食班は、調理された料理のセルフ方式による給食の指導、本部食堂への入退場の整理及び衛生管理が主な業務です。庶務班は、これらの業務調整を行います。	庶務	一部可
				給食 配給	
販売部	13-00 販売	72人	大会記念品やスカウト用品を扱うスカウト用品売店を出店するほか、一般売店 食堂が出店する売店地域を管理運営し、参加者の生活に必要な物品販売やサービス、見学者に向けた食事のサービスを提供します。	庶務	否
				一般売店 販売	